

平成22年度 第2回 藤島地域審議会次第

日 時 平成22年9月2日 (木)

午前9時30分～

場 所 藤島庁舎3階大会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 協 議

(1) 藤島地域審議会協議テーマについて

(2) その他

4 その他

5 閉 会

藤島地域審議会委員名簿

区分	所属団体名等	役職名等	氏名	備考
公 共 的 団 体 等	藤島町内会長連絡協議会	会 長	成 澤 正 一	
	庄内たがわ農業協同組合	代表理事専務	齋 藤 泰 宏	
	庄内たがわ農業協同組合 藤島支所生産組合長会	会 長	伊 藤 繁 喜	
	出羽商工会	会 長	小野木 覺	
	藤島地区民生児童委員協議会	会 長	阿 部 正 良	
	藤島中学校PTA	会 長	奥 山 和 樹	
	藤島体育協会	会 長	丸 山 鎮	
	藤島芸術文化振興会	会 長	小 林 功	
	藤島老人クラブ連合会	会 長	高 橋 徳 雄	
	藤島地域婦人会	会 長	今 野 多 美 子	
	出羽商工会女性部藤島支部	支部長	板 垣 てつ子	
	庄内たがわ農業協同組合 藤島支所女性部	部 長	上 林 節 子	
	出羽商工会青年部	部 長	工 藤 規 行	
	鶴岡市消防団藤島方面隊	隊 長	成 澤 修	
因幡堰土地改良区	理事長	富 樫 達 喜		
学 識 経 験 者	公募委員	会社役員	堀 口 大 介	
	公募委員	農 業	佐 藤 一 晴	
	公募委員	会社員	丸 山 厚	
	公募委員	会社役員	奥 山 康 光	
	公募委員	会社役員	相 馬 大	

任期:平成22年6月10日～平成24年6月9日

藤島地域審議会 協議テーマ (委員提案)

提案委員	丸山 鎮 委員	丸山 鎮 委員	丸山 鎮 委員
協議テーマ	商店街の活性化について	住民の陳情・要望をどう生かしているのか	少子化問題と未婚対策について
テーマ選定の理由	<p>特に食事する店が少ない。来客を案内するには、「ない」に等しいのではないか。</p> <p>この状況を打破し、魅力ある町にしたい。</p> <p>昔、有名であった上鉢うどんの味は忘れられない。</p> <p>高齢化社会の進行に合わせた、利用者側の視点から、商店街サービスの見直しを検討してはどうか。</p> <p>「つや姫」をPRする団体も立ち上がり、看板を立て、美味しいご飯を提供する店を増やすとしていますが、どこで、どう実現に向けて進むのでしょうか。</p> <p>産直「楽々」は駐車場が閑散として客の入りが少ない。原因は品数の不足や客寄せする目玉がないのでは。</p> <p>商店の後継者の課題もあるのでは。</p>	<p>合併前と合併後では、違いはないのか。</p> <p>藤島町時代は、町民が町議会議員に問題・課題を提供すると町当局と交渉し、解決する事例が多かったと聞いている。</p> <p>新鶴岡市になった現在はどうなのか。</p> <p>市議会議員は住民の声をどのように吸い上げ市政にどのような流れで生かしているのか。</p> <p>町内会長は町内会全般にわたる情報を所蔵し、冠婚葬祭はじめ様々な事項で、住民と市当局とのパイプ役を果たしている。町内会長の意見はどのように取り扱っているのでしょうか。</p>	<p>今まで個人の問題として、またプライバシーに関する事項として、踏み込んだ取り組みには至らなかったのではないか。しかし、今後もっと真剣になって取り組む必要があると思う。</p>
特記事項			

藤島地域審議会 協議テーマ (委員提案)

提案委員	丸山 鎮 委員	丸山 鎮 委員	阿部 正良 委員
協議テーマ	長沼小学校の統廃合について	市民の健康づくりについて	藤で豊かな町づくり
テーマ選定の理由	<p>小学校は地域住民の拠り所であり、慎重に進める必要がある。</p> <p>しかし、避けて通れない問題であり、行政がリーダーシップを発揮して最善策を見つけないければならない問題だと思います。</p> <p>解決策のプロセスを示して何度も何度も話し合うテーマだと考えます。</p>	<p>最近、グランドゴルフやウォーキングを楽しみ、実行している人が増えていると感じます。</p> <p>しかし、冬場の取り組みは低調のように思えます。色々の職種、年齢の方々より意見を聞き、議論しても良いのではないかと。</p>	<p>1. 藤の花・実・蔓・木・葉を生かした産業や活動を工夫する。</p> <p>花→押し花・染色・温泉・写生会</p> <p>実→菓子など</p> <p>蔓→リース・家具など</p> <p>木→置き物など・盆栽</p> <p>葉→料理の添物</p>
特記事項			<ul style="list-style-type: none"> ・藤の木の育成→東栄の山を活用 ・ " " →休耕田、荒地の利用 ・農工商の連携を強化する ・世代毎に活動の場を工夫する

藤島地域審議会 協議テーマ (委員提案)

提案委員	成澤正一 委員	
協議テーマ	住民自治組織のあり方と行政サービスについて	
テーマ選定の理由	<p>合併後5年になろうとしています。</p> <p>現在の藤島地域における住民自治組織の体制は、町内会の組織及び地区公民館の運営についても旧藤島町の体制をそのまま踏襲しています。</p> <p>当然他地域、特に旧鶴岡市地域との差がいろいろな面で明らかになってきています。基本的に同じ鶴岡市であれば同じ行政サービスを受けることが当たり前であり、地域による大きな差があってはならないと思う。</p> <p>現在の藤島地域での行政サービスの優位性をそのまま維持して足りない部分を要求するというものではありません。鶴岡市全体としてゼロベースで住民自治組織のあり方はどうあるべきかを藤島地域からの提言としてまとめる必要が出てきたと思います。</p>	
特記事項	<p>住民自治組織とともにいつも問題になるのが住民情報についてです。</p> <p>今全国でも問題になっているのが所在不明者の存在である。幸い山形県では所在不明者はいないとの県知事から発表がありましたが、町内会長会でも問題になるのがこの住民情報についてです。</p> <p>特に個人情報保護の立場から行政の中でも横の連携が全くなされていないことはゆゆしきことであります。</p> <p>これは国の法的整備も当然必要なのですが、個人情報保護の本来の目的を過度に運用してきた結果であると思います。住民のコミュニティや福祉の観点から、行政(内部の部署間も含む)、社会福祉協議会、末端の住民組織との三者間の密接な情報交換が出来るような法整備を提言していくべきである。</p>	

藤島地域審議会 協議テーマ 事務局案

藤島 地域審議会

<p>協議テーマ</p>	<p>① 地域後継者の育成方策について</p> <p>② 地域の活力を高める方策について</p>
<p>テーマ設定の事由</p>	<p>① 少子化や未婚者の増加などにより、産業(農業・商業)、コミュニティ(自治、防災)、伝統文化など、地域の未来の担い手が不足してきている現状に鑑み、様々な分野における後継者育成方策を検討し、若者の定住策を含めて検討する。</p> <p>② 少子高齢化や経済情勢などにより、地域の活力の減退が懸念されるが、生活基盤の面では、住民自ら活力を高めていく努力が肝要であり、その方策を各分野において探る。</p>
<p>特記事項</p>	